



2026年2月19日
公益財団法人 JFE 21 世紀財団

JFE21 世紀財団 若手女性研究者向け技術研究助成の新設について

このたび、公益財団法人 JFE21 世紀財団（理事長：北野嘉久 JFE ホールディングス（株）代表取締役社長）は、主要活動の一つである大学研究助成事業の技術研究助成において、若手女性研究者を対象とする新たな助成制度を 2026 年度から新設します。

当財団は、1990 年の財団設立以来、JFE グループとともに、21 世紀鉄鋼産業の振興および豊かな生活文化の形成への貢献を目的とする活動を続けてきました。その中で、1991 年から開始した当財団の大学研究助成は、2026 年度には技術研究助成とアジア歴史研究助成の合計で 1,000 件の大台を超える節目を迎える予定です。この節目に合わせ、新たな取り組みとして若手女性研究者向けの技術研究助成を追加するものです。

1 件あたりの助成金額は 100 万円、年間 5 件程度で、国内の大学・研究機関に在籍する研究者・大学院生で、35 歳以下の女性を対象とします。4 月中旬から 5 月末にかけて財団ホームページ上で募集し、7 月に助成金を支給し、翌年 3 月末に研究報告書を提出していただく計画です。なお、これまで実施している技術研究助成（1 件 200 万円、年 25 件程）は、変わりなく継続します。（1991 年から 2025 年度まで合計 794 件、15.9 億円を助成）

今回新設した助成制度は、鉄鋼技術と環境技術の分野において母数の少ない若手女性研究者が活躍する機会を支援し、研究意欲の向上そして専攻志望する研究者の裾野拡大の一助となることを期待するものです。対象の年齢・性別に関しては、研究者として若手といわれる年代において、ライフイベントに関わらず研究者としての立身を目指す方を応援することを目的に設定しました。また、研究期間を同年度内に設定し短期化することにより、活動期間が限られた方なども応募しやすくなることを想定しています。

当財団は、「社会に開かれた存在を目指し、社会との共存共栄をいっそう進める」の設立趣旨のもと、社会貢献の一端を担う公益事業をこれからも一層推進して参ります。

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

公益財団法人 JFE21 世紀財団 Tel 03-3597-4652
東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 28F

※若手女性研究者助成の募集要項詳細については、次をご参照ください。

公益財団法人 J F E 21世紀財団 2026年度 技術研究助成 若手女性研究者助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

鉄鋼技術研究：鉄鋼材料、製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎／応用研究。計測・制御・分析・計算科学・数値解析・DX等で鉄鋼を対象とする関連技術や生産技術の研究を含む。

地球環境・地球温暖化防止技術研究：地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング（工学）に関する基礎、応用技術の研究。

* 【別紙】の「研究分野分類表」のいずれかの分類に該当した研究テーマを受付ける。

* 実質的に既に完了している研究や、特定の機関からの委託研究は対象外とする。

* 助成を受けた研究の当財団での成果公開は任意とする。（希望者は財団ホームページ(HP)で公開）なお、研究成果がもたらす工業所有権等の知的財産権については、本財団は関与しない。

2. 応募資格

日本の国公私立大学・短期大学・高等専門学校または公的研究機関に在籍する研究者あるいは大学院（博士課程・修士課程）で学び研究する学生（いずれも国籍は問わない）であって、

35歳以下（本年度は生年月日が1990年4月1日以降）の女性。

当財団既存（性別/年齢不問）の技術研究助成と同一年度での併願は認めない。またこれまでに既存の技術研究助成を受領した者も応募はできない。

3. 助成件数と助成金額

5件程度（100万円/件）

* 助成金は代表研究者の所属する学校・研究機関に交付（指定銀行口座に2026年7月頃に振込）

* 助成金の使途は、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金、参考書籍・文書購入費等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

4. 研究期間

原則2027年3月末日まで。終了期日までに研究報告書を提出する。

5. 申請の手続き

本財団HPの申請様式[3月下旬にHP掲載予定]に（原則として日本語で）研究概要等を記入し、上司/指導者の推薦コメントを付記したうえで、HPの申請画面から送信する。

財団HP：<https://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始：4月13日（月）締切：6月1日（月）

6. 審査・選考と助成研究（者）の公表

本財団委嘱の技術審査委員による審査・選考を経て、財団理事長が決定し、7月に応募者に結果を通知の後、財団HP等で公表する。

7. 受領決定後の約束事

- (ア) 助成受領者は、本財団と「技術研究助成覚書」を締結
- (イ) 助成受領者は、本財団所定の寄付申請書の作成を大学・研究機関事務部に依頼
- (ウ) 研究終了後、研究報告書（公開任意）と会計報告書を提出

以上

【別紙】

技術研究助成の対象とする「研究分野分類表」

*ホームページ応募申込画面の「研究分類」欄には、下記の研究分類コードより最も近いもの1つを選択し、入力する。

*応募申請書の「研究分類(主)」欄には上記と同じコードを入力する。

(複数の研究分類コードに該当する場合のみ、2番目に近いものを「研究分類(従)」にも入れる)

(区分)	(大分類)	研究分類コード	(小分類)
鉄鋼	鉄鋼製造プロセス	鉄プー1	製銑分野の製造プロセス・生産技術・DX技術
		鉄プー2	製鋼分野の製造プロセス・生産技術・DX技術
		鉄プー3	鉄鋼副産物の処理プロセス・処理技術、再資源化、再利用
		鉄プー4	塑性加工、圧延分野の製造プロセス・生産技術・DX技術
	鉄鋼材料	鉄材ー1	組織(相、粒界、析出、拡散)
		鉄材ー2	材料設計(複合・焼結材料・ナノ)、合金
		鉄材ー3	強度、疲労・破壊、材料評価
		鉄材ー4	腐食・防食、電気化学、表面処理、コーティング
	鉄鋼関連技術	鉄関ー1	計測・制御技術、計算科学、数値解析、DX技術
		鉄関ー2	分析技術、評価・試験、検査
		鉄関ー3	溶接・接合、潤滑・トライボロジ
		鉄関ー4	鋼構造(設計、試験、工法)、構造解析、土木・建築
地球環境・地球温暖化防止	地球環境保全	環境ー1	水資源、飲料水、河川湖沼・海浜、水処理
		環境ー2	廃棄物処理、再資源化、リサイクル、金属回収
		環境ー3	土壤浄化、環境汚染物質(大気)回収、土壤・大気等無害化の分析・計測、放射性廃棄物処理
	地球温暖化防止	温暖ー1	CO ₂ 等温室効果ガス回収・固定、ヒートアイランド
		温暖ー2	省エネ、排熱利用、燃焼(燃料)、熱機関、空調、ヒートポンプ
		温暖ー3	燃料電池、蓄電池、水素製造
		温暖ー4	再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱、バイオマス)、スマートグリッド、エネルギーフロー